

第 45 回 GRL 静岡バイオサイエンスセミナー

地域園芸作物のウイルス病害防除に関する研究
～ウイルスを使ってウイルスを防ぐ～

関根健太郎 博士

(琉球大学農学部植物病理学研究室、准教授)

日時 9 月 12 日 (月) 15:00 ～ 16:30

場所 静岡大学静岡キャンパス 農学総合棟 2 階 225 室

農業上問題となる病害のうち、ウイルス性の病害は、有効な農薬はなく、基本的には早期発見と伝搬経路の遮断による感染拡大の防止が基本となる。病原体を特定する「診断」の作業は、従来、既知病原体を種特異的に検定する方法であり、新病害の病原体の探索においては、多大な時間と労力を必要とする。長い植物病理学研究の歴史においても、未だ原因不明の病害は多く、特に扱いにくいものが残されており、基本的な病原体同定作業（単離と接種）では証明が困難なものが多いことが予想される。本講演では、講師が取り組んでいる地域園芸作物の難防除ウイルス性病害の病原体究明研究に関して、病原体の同定に、病原体とは異なるウイルス（ウイルスベクター）を利用したいくつかの事例など、「ウイルスを使ってウイルスを防ぐ」をテーマに病害防除に関わる分子生物学の最近の話題を提供する。

連絡先： 農学部共生バイオサイエンス学科花き園芸学研究室 中塚貴司

e-mail nakatsuka.takashi@shizuoka.ac.jp

内線 4353

講演終了後に関根先生との情報交換会を行います。参加を希望される方は、9 月 8 日 (木) までに中塚まで連絡ください。